

# 「3年演習」の説明 (植原ゼミ)

これまで、初等教育学科、子ども支援学科所属のゼミ生もいます。

1期生からの教採合格および教員就職者累計 21名

1. 教員名 植原 吉朗 開講曜時：後期金曜日第5時限
2. 演習テーマ ①行動科学、社会心理学、意思決定(ゲーム)理論からヒトを分析する  
②武道の科学、武道を通じた国際的コミュニケーション(英会話の実践)  
③食生活・食文化から考える健康づくり、  
摂食科学によるエネルギーの効率的摂取やウエイトコントロールの研究  
ゼミ生は、上記の分野に関連して各自が取り組むテーマを設定していく。
3. 領域 行動科学、武道学・国際交流、食教育に関わる分野(食生活・文化論、解剖生理学)

## 4. 演習概要(各学生のテーマ設定によって、個別または班別に取り組んでいく)

### ①「行動科学・社会心理・ゲーム理論系」班

体育・スポーツにおける、心のはたらきや行動科学について学びを進める。「やる気」の促進、動機づけ、達成意欲、集中とリラックス、情報提示の方法、学習効果の転移、性格・パーソナリティと競技力の関係、競争と協調、要求水準や設定目標とパフォーマンスの関係など、行動科学や意思決定理論から、ヒトが本来備えている潜在能力をいかに引き出すかを追究する。この班を中心に「伝承遊び」を「ゲーム理論」に発展させる「行動科学の実験・調査法勉強会」を実施する。

### ②「武道科学、国際コミュニケーション系」班

武道に限らず、教育や社会的な場面で、また国際文化交流での有効性を検証する調査・研究を進める。幼少年から高齢者に至るまで実践可能な武道のもつ特性を明らかにしていくことを狙う。  
この班を中心に「英語コミュニケーション勉強会」を実現する。

### ③「食生活・文化、摂食科学系」班

人間の生活・行動の基礎は「食」である。競技場面だけでなく、日常生活や健康づくりに寄与する「食」のあり方について学びを深める。また、この班を中心に「食の研究会」を設ける。

## 5. 受講生への要望

自分の取り組んでみたいテーマが現時点で漠然としていても差し支えないが、やる以上は具体的な目標を定めてそれを達成するぞ!という気概を持つ学生に来てほしい。**勉強しないと、ついていけない!**

将来の指導者としての能力を鍛えたい人、「何か」を成し遂げる達成感を得たい人、要するに、真剣にやる気ある者、来たれ!!

定時の開講曜時だけでなく、場合によって別時間帯を設定したり、個別対応をする。

春期や夏期に、エクスカージョン(小旅行)や必要に応じて学外合宿を実施する。

年度末にはゼミ雑誌を発行する。またゼミHPを立ち上げ、ゼミ生諸君の成果を発信する。